

令和 4 年度 山梨県立図書館協力会活動報告

会長 小宮山光江

今年度、私たち山梨県立図書館協力会は、コロナ禍による制限はありながらも、各分野での活動及び、協力会全体としての事業を実施することができました。

約 50 名の協力員が所属する「案内・書架整理」の仕事はなかなかの重労働で、1 時間も仕事を続けると身体がふらふらするくらいです。一冊の返却本を棚に戻すために注意力と体力を使います。フロアで時々、利用者への案内をすることもあります。声をかけ、かけられることに喜びを感じます。

「環境整備」分野は、館内に花を飾り、気持ちよくくつろげる場を作るために常にこまやかに気を使って活動しています。

「修理・ブックコート」分野では、週 2 日集まって作業をしてきました。一冊一冊の本にカバーをかけ、傷んだ本を修理するなど、技術の要求される仕事です。

「外国語読み聞かせ」は年 6 回実施、親子 10 人前後が参加し、絵本を読み、歌ったり踊ったりもしながら盛り上がる楽しい会をしました。ネイティブの先生が読んでくださることもありました。英語が主ですが、イタリア語、フランス語の読み聞かせもありました。

「代読サービス」は毎週 1 回、小説やエッセイなどを読むサービスをしてきました。月に 1 回の研修会を持ち、勉強しながらサービスを続けてきました。

「その他」の分野では、中国・エジプト・ブルキナファソ・ガーナ・ルーマニアと、年 5 回にわたり「ことばのひろば」を開催、さまざまな工夫がいっぱいの楽しい会を実施しました。

協力会全体の事業としては、9 月に自主企画研修会として「星つむぎの村」講演会を、11 月に「贈りたい本の市」を開催しました。

講演会での講師は「星つむぎの村」の高橋真理子さんと跡部浩一さん。オーロラにあこがれ、宇宙のことを研究したという高橋さんのお話や、美しい星の写真を共に楽しみました。「月や星の写真を眺め、宇宙に思いをはせて、自分の存在を改めて考える機会となりました。」などの感想が寄せられました。

3年ぶりに開催した「贈りたい本の市」には、1500冊余りの献本をいただきました。当日は、のべ30名もの協力員が会場づくり、売り子、片づけなどに参加しました。役員以外に、実行委員として7月から準備にあたり活躍してくださった方々の力も大きいものでした。何冊もの本を選び購入してくださる方も多く、本を人につなぐことの喜びを改めて感じる催しでした。売上金はすべてNHK 歳末助け合い、フードバンク、YBS 厚生文化事業団に寄付しました。多くの方のご協力に心から感謝申し上げます。また、協力会の活動を支えてくださった山梨県立図書館事務局の方々に改めて御礼申し上げます。

次年度もどうぞよろしくお願いいたします。